

NYマーケットレポート（2015年1月20日）

NY市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、堅調な展開で始まった米株価が下落に転じたことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、円買い一巡後は、日銀の金融政策決定会合で、何らかの追加緩和策が発表されるとの観測や、株価が一転して反発し、プラス圏まで値を戻す動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、ユーロは、ECB理事会で量的緩和に踏み切るとの見方もあり、主要通貨に対して上値の重い展開が続いた。

## 2015/1/20 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.26	118.54	117.58
EUR/JPY	137.07	137.26	136.43
GBP/JPY	178.60	178.89	177.55
AUD/JPY	96.88	97.17	96.35
EUR/USD	1.1591	1.1639	1.1568

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.78	117.99
EUR/JPY	137.64	136.60
GBP/JPY	180.10	178.38
AUD/JPY	97.39	96.85
EUR/USD	1.1615	1.1569

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17366.30	+352.01
ハンセン指数	23951.16	+212.67
上海総合	3173.05	+56.70
韓国総合指数	1918.31	+15.69
豪ASX200	5307.67	-1.47
インドSENSEX指数	28784.67	+522.66
シンガポールST指数	3334.02	+26.32

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6620.10	+34.57
仏CAC40	4446.02	+51.09
独DAX	10257.13	+14.78
ST欧州600	355.96	+2.78
西IBEX35指数	10283.90	+126.40
伊FTSE MIB指数	19658.66	+178.13
南ア 全株指数	49124.77	+127.83

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.80	118.87	118.26
EUR/JPY	137.23	137.62	136.87
GBP/JPY	179.91	180.28	179.50
AUD/JPY	97.12	97.37	96.68
NZD/JPY	91.17	91.65	90.94
EUR/USD	1.1553	1.1606	1.1540
AUD/USD	0.8175	0.8205	0.8167

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17515.23	+3.66
S&P500	2022.55	+3.13
NASDAQ	4654.85	+20.46
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14308.44	-4.06
🇧🇷 ボルサ指数	41752.67	+467.09
🇨🇱 ボベスバ指数	47876.66	+118.65

### 1/21 経済指標スケジュール

08:30	【豪】1月ウエストバック消費者信頼感指数
12:00	【日】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
13:30	【日】11月全産業活動指数
14:00	【日】12月全国スーパー売上高
14:00	【日】11月景気先行CI指数
14:00	【日】11月景気一致CI指数
15:00	【日】12月工作機械受注
17:00	【南ア】12月消費者物価指数
17:00	【スイス】12月マネーサプライM3
18:30	【英】英中銀 MPC議事録
18:30	【英】11月ILO失業率[四半期]
18:30	【英】12月失業者数推移
19:00	【スイス】1月ZEW景況感調査
21:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
22:30	【米】12月住宅着工件数
22:30	【米】12月建設許可件数
22:30	【カナダ】11月卸売売上高
00:00	【カナダ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1294.20	+17.30
NY 原油	46.47	-2.66
CME コーン	390.25	+3.25
CBOT 大豆	982.00	-9.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.49%	0.48%
3年債	0.83%	0.81%
5年債	1.29%	1.29%
7年債	1.59%	1.60%
10年債	1.79%	1.82%
30年債	2.37%	2.45%

### 1/21 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・世界経済フォーラム（～24日）

(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

### 欧州タイム

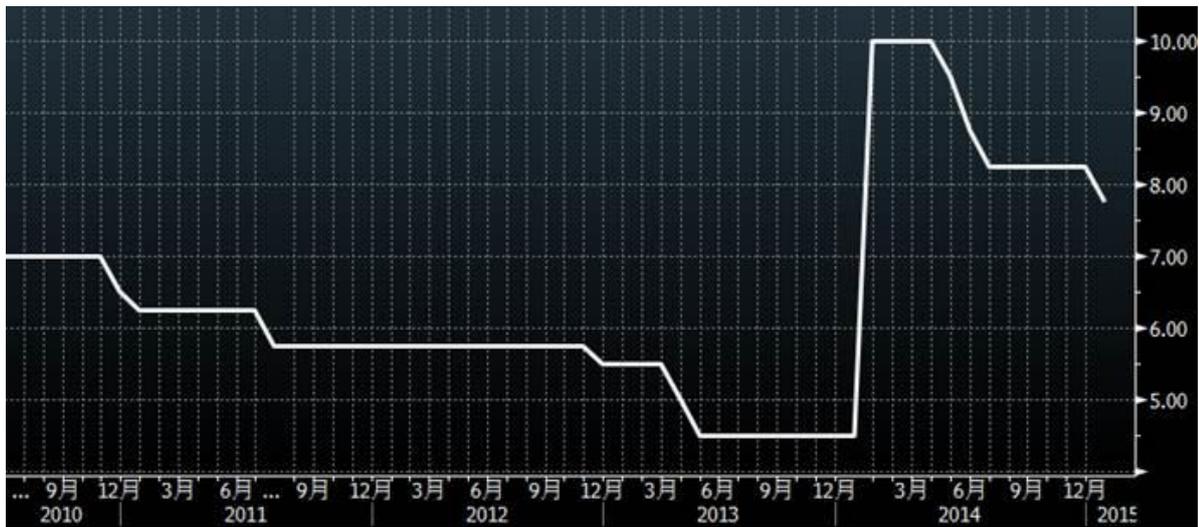
21 : 01

≪ 経済指標の結果 ≫

トルコ指標レポレート（政策金利） 7.75%（予想 8.25%・前回 8.25%）

トルコ翌日物貸出金利 11.25%（予想 11.25%・前回 11.25%）

トルコ翌日物借入金利 7.50%（予想 7.50%・前回 7.50%）



(出所:ブルームバーグ)

21 : 15

≪ 企業決算 ≫

米モルガン S

第4四半期 継続ベースの1株利益 0.39 ドル（予想 0.50 ドル）

21 : 45

≪ 企業決算 ≫

米 J & J

第4四半期 調整後の1株利益は 1.27 ドル（予想 1.26 ドル）

22:00

ドル/円 118.68 ユーロ/円 137.55 ユーロ/ドル 1.1591

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6636.66	+51.13	ダウ INDEX FUTURE	17518	+86
仏 CAC40	4455.40	+60.47	S&P500 FUTURE	2024.50	+11.60
独 DAX	10272.44	+30.09	NASDAQ FUTURE	4164.25	+30.25

(出所:SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月ポーランド雇用(前月比) 0.0% (予想 -0.1%・前回 0.1%)

12月ポーランド雇用(前年比) 1.1% (予想 1.0%・前回 0.9%)

12月ポーランド平均賃金(前年比) 3.7% (予想 3.1%・前回 2.7%)

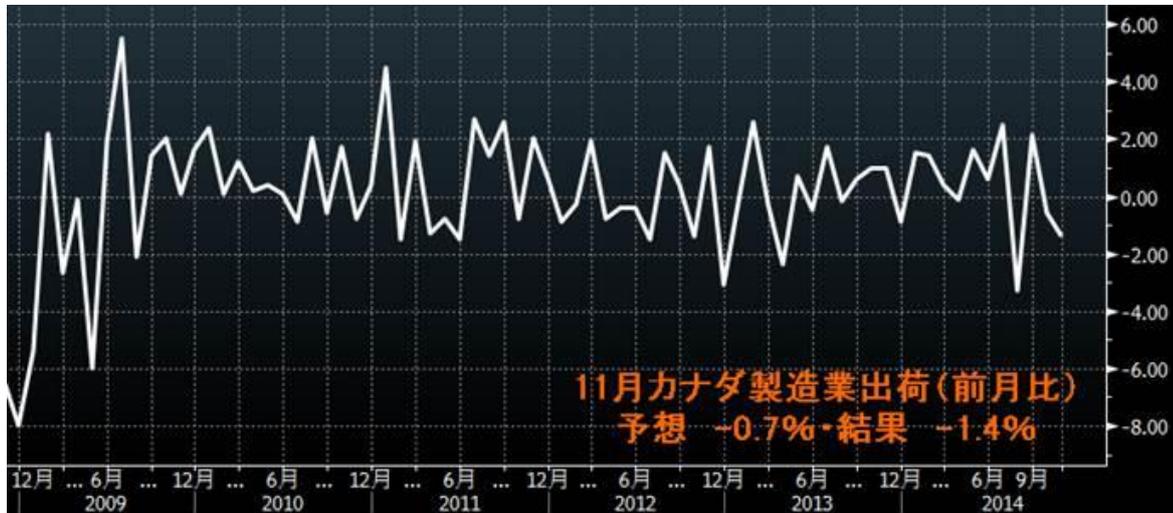


(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ製造業出荷（前月比） -1.4%（予想 -0.7%・前回 -1.1%）  
 前回発表の-0.6%から-1.1%に修正



（出所：ブルームバーグ）

◀ NY 外国為替市場 序盤 ▶

序盤の外国為替市場は、アジアや欧州の主要市場での株価上昇を背景に、投資家のリスク容認姿勢が強まり、比較的  
 安全な通貨とされる円を売る動きが先行しており、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きも見られている。

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17580.54	+68.97
ナスダック	4660.66	+26.28

（出所：SBILM）

0 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

1月米 NAHB 住宅市場指数 57 (予想 58・前回 58)  
 前回発表の 57 から 58 に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪ NAHB 住宅市場指数 ≫

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
住宅市場指数	57	58	58	54	59	55	53
現状指数	62	62	62	57	63	58	57
見通し指数	60	64	66	64	67	65	64
顧客動向指数	44	46	45	41	47	42	39

【NAHB 住宅市場指数】

NAHB 住宅市場指数は、全米住宅建築業者協会 (NAHB) が加盟業者を対象にした一戸建て住宅の販売状況調査を基にした指数。50 が判断の基準となり、50 を下回ると住宅建設業者の多くが現況を「悪い」とみていることを示すことから、住宅市場の先行指標となる。

0 : 30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、主要株価が堅調な展開で始まったものの、原油相場の下落や米住宅関連の経済指標が市場予想を下回ったことが嫌気され、売りが優勢となった。ダウ平均株価は、前週末比 77 ドル高まで上昇したものの、その後、104 ドル安まで下落する動きも見られた。

≪ 経済指標のポイント ≫

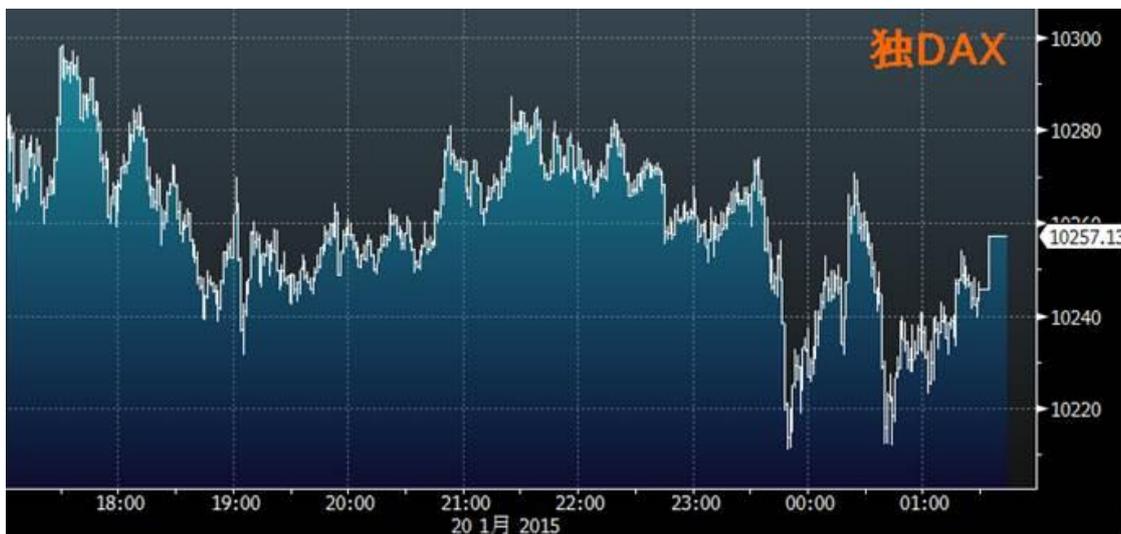
NAHB (全米住宅建設業者協会) が発表した 1 月の NAHB 住宅建設業者指数は、市場予想の 58 を下回る 57 となり、2014 年 10 月以来の低水準となった。ただ、引き続き昨上期の水準を上回り、堅調に推移している。そして、昨年 6 月以降、業況感の改善と悪化の判断基準となる 50 を上回っている。一戸建て住宅販売の現状指数は 62 (前月 62) と横ばいとなったが、半年先の一戸建て住宅販売の見通し指数は 60 (64) に、潜在的な住宅購入者の動きに関する指数は 44 (46) にそれぞれ低下した。NAHB の会長は「7 ヶ月連続で節目の 50 を上回っており、建設業者業況感が全米で緩やかに改善していることを反映している」と述べた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6620.10	+34.57
仏 CAC40	4446.02	+51.09
独 DAX	10257.13	+14.78
ストック欧州 600 指数	355.96	+2.78
ユーロファースト 300 指数	1422.79	+12.87
スペイン IBEX35 指数	10283.90	+126.40
イタリア FTSE MIB 指数	19658.66	+178.13
南ア アフリカ全株指数	49124.77	+127.83

(出所: SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ECB が理事会で、量的金融緩和の導入を決めるとの見方が引き続き買い材料となり、主要株価は堅調な動きとなった。独 DAX は、3 営業日連続で終値ベースでの最高値を更新した。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17371.15 (-140.42)、 S&P500 2005.45 (-13.97)、 ナスダック 4610.16 (-24.22)

#### 《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ECB が理事会で量的金融緩和に踏み切れればユーロ圏各国の国債利回りがさらに低下し、相対的に利回りが高い米国債の需要が増すと期待から買いが先行した。また、原油価格が下落したことや、IMF が今年と来年の世界全体の成長率見通しを下方修正したことで世界経済の先行き不透明感が強まり、安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きもみられた。

午前の利回りは、30 年債が 2.38% (前週末 2.45%)、10 年債が 1.77% (1.83%)、7 年債が 1.55% (1.61%)、5 年債が 1.25% (1.29%)、3 年債が 0.79% (0.82%)、2 年債が 0.47% (0.49%)。

《欧州のポイント》

- ①ギリシャ中銀が発表した11月の経常収支は、9億9700万ユーロ（11億5000万ドル）の赤字だった。赤字額は、前年同月（7億5300万ユーロ）を上回った。観光関連の収入は2億6700万ユーロ。前年同月の2億0500万ユーロを上回った。2014年通年の経常収支は、輸入の減少や観光収入の増加で前年に続き黒字が予想されている。2013年は12億4000万ユーロ、GDP比約0.7%の黒字だった。
- ②欧州復興開発銀行の第一副総裁兼最高執行責任者は、ギリシャのユーロ圏離脱はユーロの安定モデルを損ないかねないとの見方を示しつつ、欧州復興開発銀行としてそうした事態は想定していないと述べた。第一副総裁は中東欧に関する会議で「ユーロの安定モデルを損なうとの観点から、ギリシャのユーロ離脱を非常に懸念している」と述べた。
- ③ECBが公表した四半期ごとの「銀行貸出調査」によると、ユーロ圏の銀行融資に対する企業の需要は2014年第4・四半期に増え、2015年第1・四半期も拡大することが見込まれている。調査によると、調査対象行の4分の1は第4・四半期に家計向け融資の需要が高まったと回答。2割は第1・四半期に一段と需要が高まりそうだと予想している。ECBは報告書の中で「住宅ローンについて、需要は特にオランダ、イタリア、ドイツで堅調だった。スペインもそれほどでないにせよ堅調だった」と明らかにした。企業・家計向け融資基準については第4・四半期に緩和され、第1・四半期には一段と緩和されることが見込まれる。
- ④EU統計局が発表した第3四半期の財政赤字は、対域内GDP比で2.3%に縮小し、1.9%だった2008年7-9月以後で最も小さくなった。ギリシャが債務問題を抱え、救済策を受け入れる直前の2010年1-3月には7%のピークに達していたものの、ユーロ参加国の財政赤字が全体的に縮小し、債務危機の最悪期を脱した状況が示された。
- ⑤スウェーデン政府は、欧州や世界経済の低迷から2014-2016年の経済成長見通しを下方修正した。今年の成長率は2.4%で、前回10月に示した3.0%から下方修正、2014年は2.1%から1.8%に、2016年も引き下げた。最大の貿易相手地域である欧州経済の停滞リスクを指摘した。
- ⑥イタリア国家統計局が公表した貿易収支統計によると、昨年11月の貿易黒字は35億4100万ユーロとなり、前年同月の29億8800万ユーロから拡大した。輸出は前年比+1.7%、輸入は横ばいだった。EU加盟国との貿易黒字は8億1500万ユーロで、前年同月の6億4500万ユーロから増加した。2014年1-11月の貿易黒字は371億5300万ユーロ、エネルギー関連を除いた黒字は772億7400万ユーロとなった。
- ⑦英国政府が実施した5年債入札では、応札倍率が1.42倍と、2013年11月以来の低水準を記録した。流通市場での利回りの低下やECBの理事会を控えていることが要因。英債務管理局は、2020年7月債を37億5000万ポンド（56億8000万ドル）発行。平均利回りは1.167%となった。英5年債の利回りは、前週末の取引で2013年5月以来の低水準である0.948%を付けていた。
- ⑧トルコ中銀は、主要政策金利である1週間物レポ金利を0.50ポイント引き下げ7.75%とすることを決定した。上限金利である翌日物貸出金利は11.25%、下限金利の翌日物借入金利は7.50%にそれぞれ据え置いた。エルドアン大統領が、利下げで景気を刺激するよう中銀に圧力をかける中、商品相場の急落を背景に、トルコの12月の消費者物価指数が前年比8.17%（前月9.15%）と鈍化したことを理由に利下げを実施した。

4 : 40

NY金は、中心限月が前週末比17.30ドル高の1オンス=1294.20ドルで取引を終了した。

5 : 10

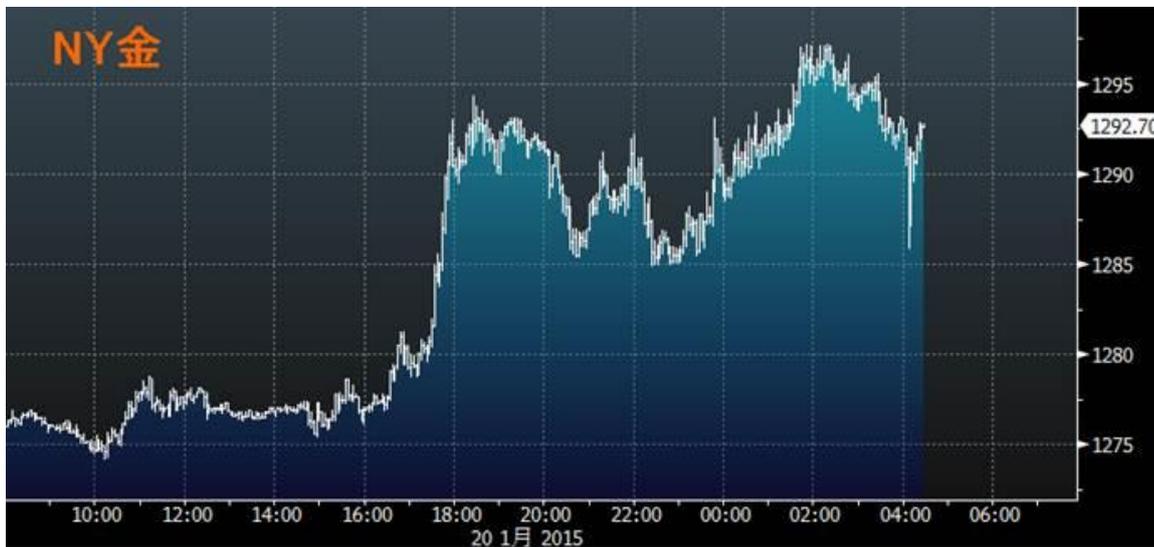
NY原油は、中心限月が前週末比2.66ドル安の1バレル=46.47ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1294.20	+17.30
NY 原油	46.47	-2.66

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

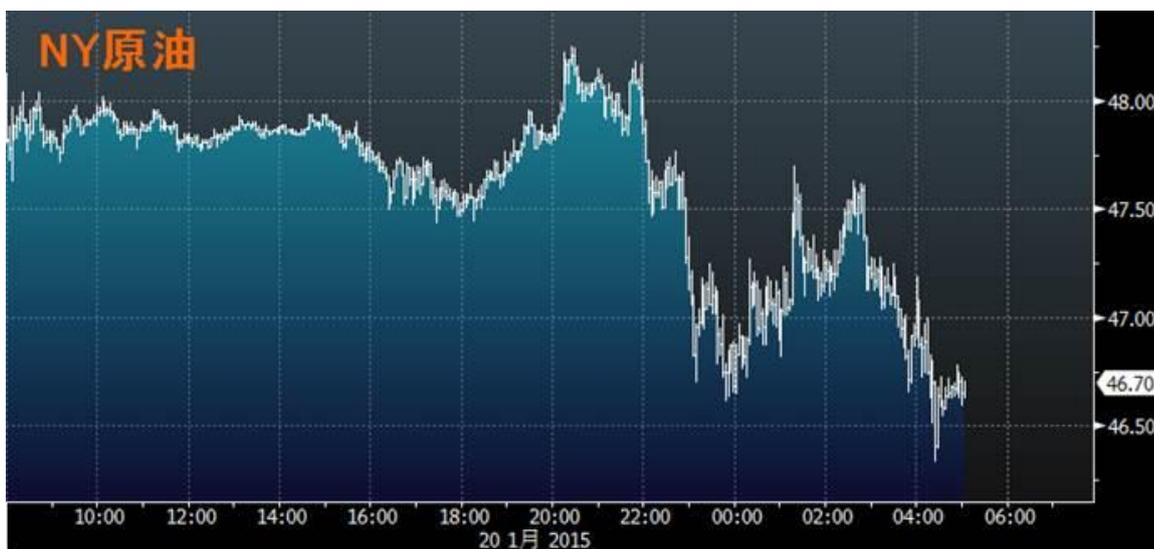
NY 金は、ECB 理事会やギリシャ総選挙を前に、欧州経済の先行き不透明感からリスク投資を避ける動きが強まり、比較的 안전한資産とされる金を買う動きが優勢となった。終値ベースで7営業日続伸となり、2014年8月20日以来、5ヵ月ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、IMF が 2015 年の世界全体の成長率予測を下方修正したことが材料視され、世界景気の減速でエネルギー需要が引き続き低迷するとの懸念から軟調な動きとなった。また、イラク原油の生産量が記録的な高水準にあるとの報道も嫌気された。



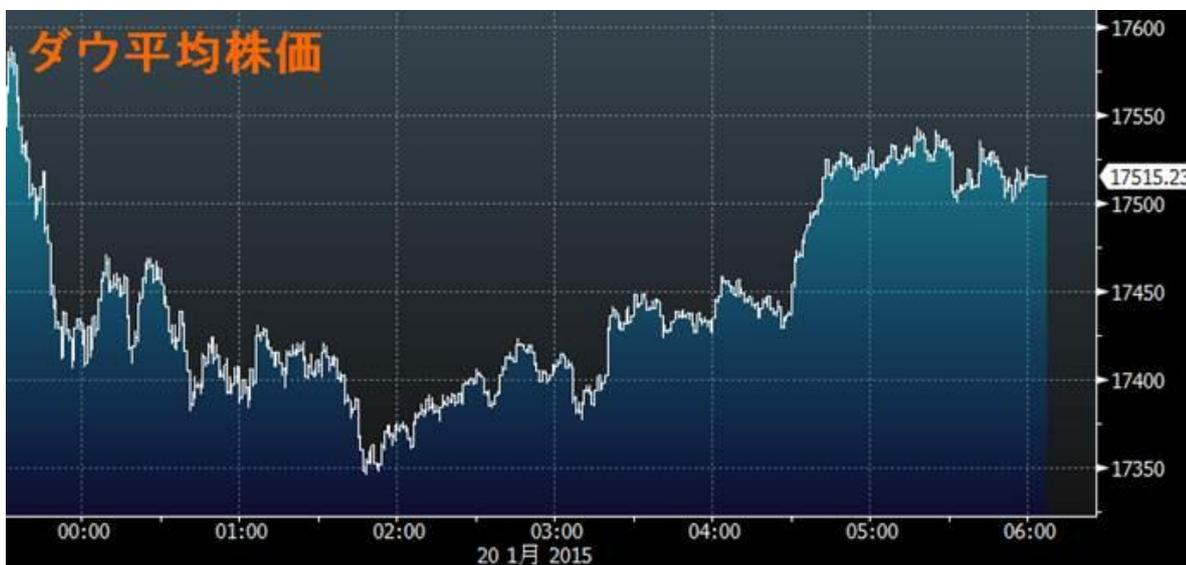
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17515.23	+3.66	17588.70	17346.73
S&P500 種	2022.55	+3.13	2028.94	2004.49
ナスダック	4654.85	+20.46	4665.65	4601.10

(出所: SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、主要株価が堅調な展開で始まったものの、原油相場の下落や米住宅関連の経済指標が市場予想を下回ったことが嫌気され、売りが優勢となった。その後は買い戻しの動きが強まり、プラス圏まで上昇する動きとなった。ダウ平均株価は、前週末比 77 ドル高まで上昇したものの、その後は 164 ドル安まで下落する動きとなった。しかし、引けにかけては値を戻す動きが強まり、プラス圏まで上昇する動きとなった。



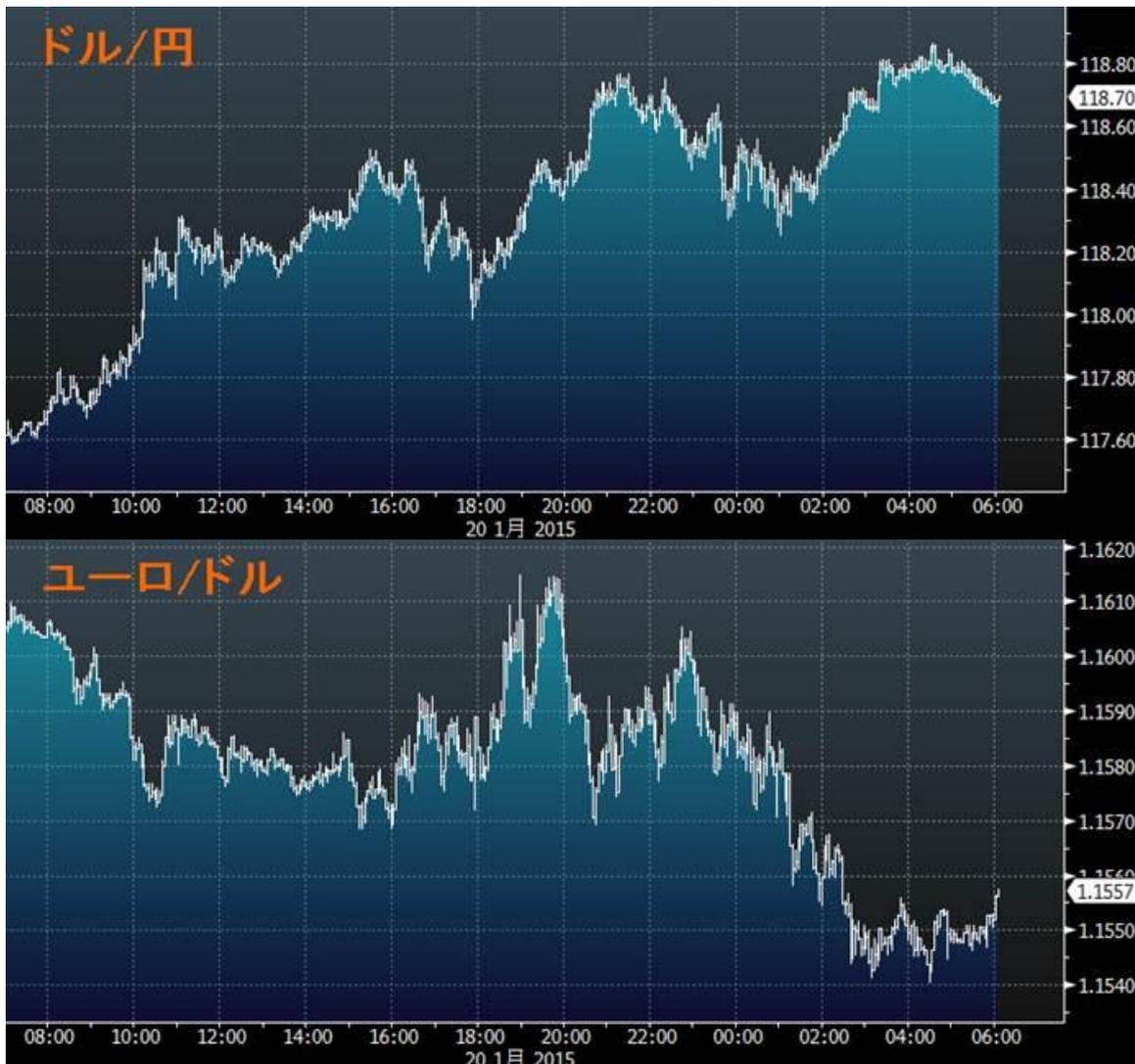
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.80	118.87	118.26
EUR/JPY	137.23	137.62	136.87
GBP/JPY	179.91	180.28	179.50
AUD/JPY	97.12	97.37	96.68
NZD/JPY	91.17	91.65	90.94
EUR/USD	1.1553	1.1606	1.1540
AUD/USD	0.8175	0.8205	0.8167

(出所: SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表もなく、取引材料に乏しい中、堅調な展開で始まった株価が大きく下落する鷓動きとなったことを受けて、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。午後に入ると、主要株価は一転し上昇に転じ、プラス圏まで上昇したことから、ドル円・クロス円も軒並み上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。